

森六
MORIROKU

**2021年3月期第2四半期
決算説明会**

東証1部 4249

森六ホールディングス株式会社

2020年11月18日

1. 2021年3月期 第2四半期の総括	P. 5
2. 重点取り組み	P. 8
3. 2021年3月期 第2四半期決算	P. 16
4. 2021年3月期 見通し	P. 27
5. 参考資料	P. 32

350年余の歴史を有する、日本最古参のグローバル化学専門企業

森六ホールディングス株式会社

森六テクノロジー株式会社

樹脂加工製品事業
自動車部品の「メーカー」機能

内装部品



外装部品



事業内容

強み

- ホンダグループとの強固なネットワーク
- 世界4極での研究開発体制

森六ケミカルズ株式会社

ケミカル事業
化学分野における「商社」機能

生活材料



ファインケミカル



コーティング



事業内容

強み

電気・電子



自動車材料



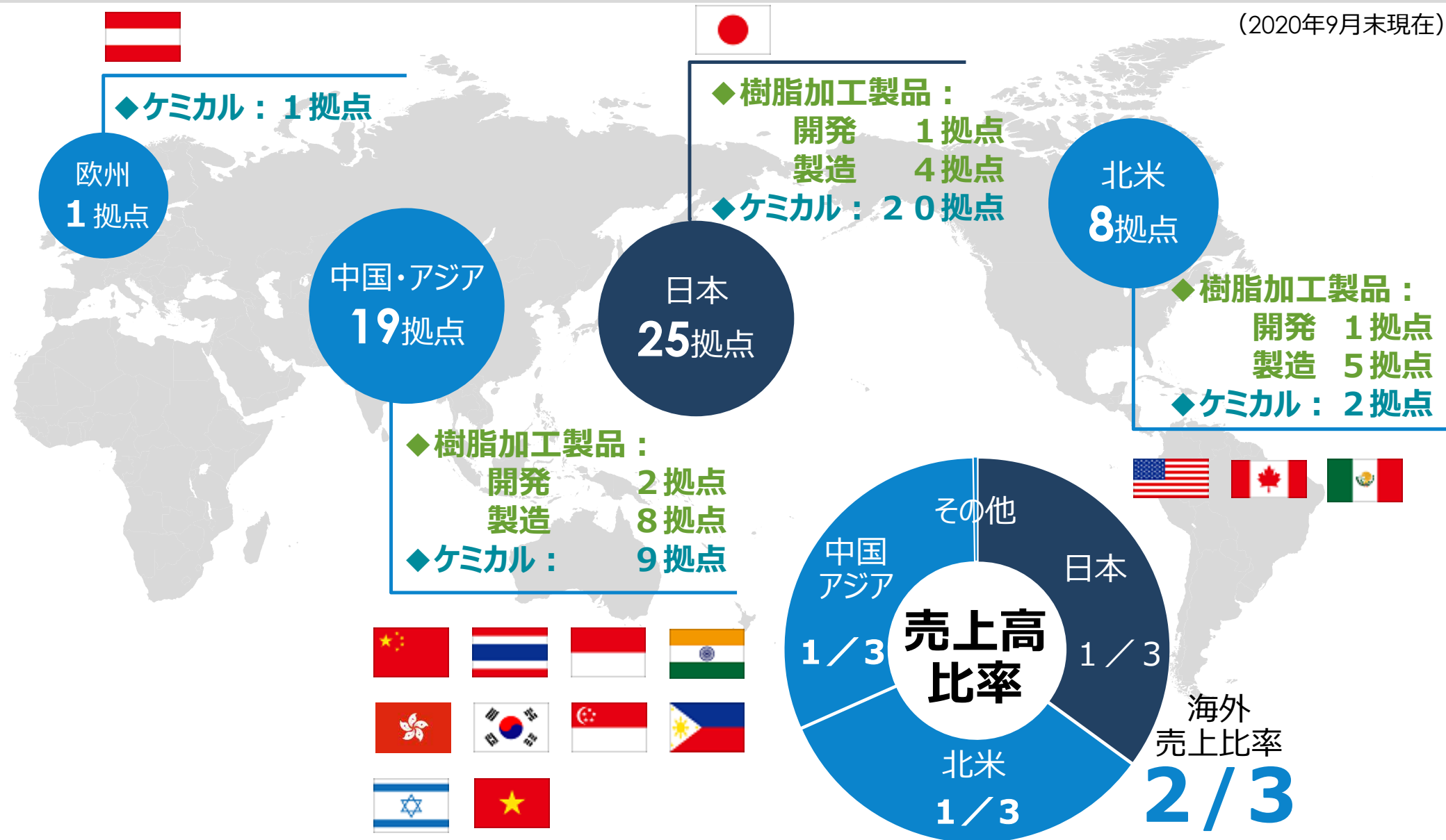
樹脂加工製品



- 「ものづくり」と「化学商社の知見」でグローバル展開
- 樹脂加工製品事業とのシナジー

グローバルネットワークにより、顧客のニーズに迅速に対応

(2020年9月末現在)



1. 2021年3月期 第2四半期の総括



取り巻く環境

<h3>世界経済</h3>	新型コロナウイルスの影響により引き続き厳しい状況 足元では持ち直しも動きもあるが、感染再拡大への懸念あり
<h3>自動車 (主要顧客)</h3>	各国の工場は再開したが、回復度合に差があり ・中国：急速に回復 ・北米、日本：販売改善が進む ・アジア：インドネシアなど回復が遅い地域あり

2021年3月期第2四半期 業績

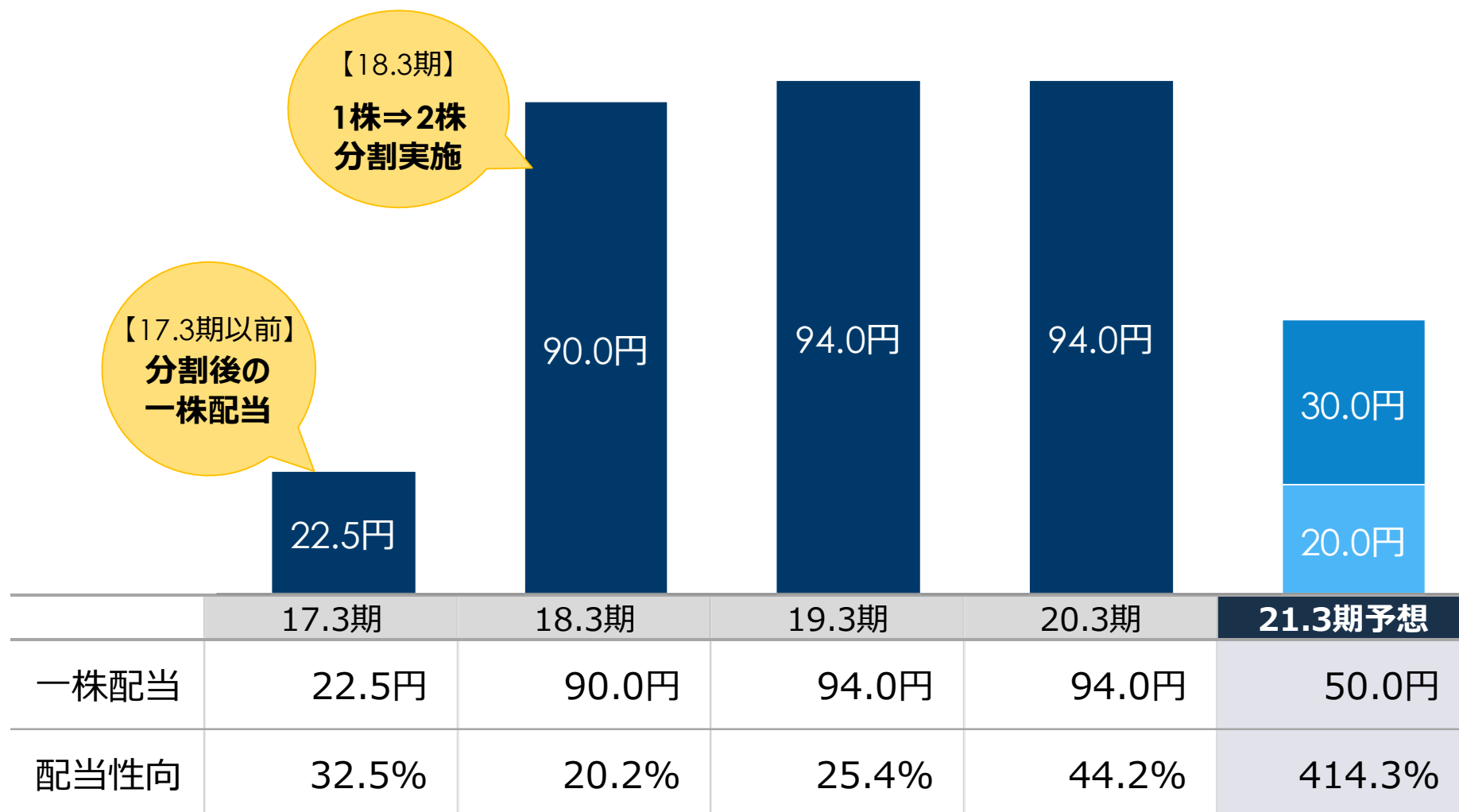
<h3>売上高</h3>	669億円	工場の停止・減産影響等があったが、上期後半より大幅に回復し、前期比△189億円（△22.0%）
<h3>営業利益</h3>	18億円	前期比 △6億円（△27.4%）

2021年3月期 通期見通し

- ・ コロナ影響あるものの、主要顧客の増産により順調に回復
- ・ 通期見通しは、8/7の公表値から変更はなし

2021年3月期の中間配当は20.00円、年間配当予想は50.00円

将来への投資や内部留保のバランスを考慮しながら、安定的・継続的な配当を実施

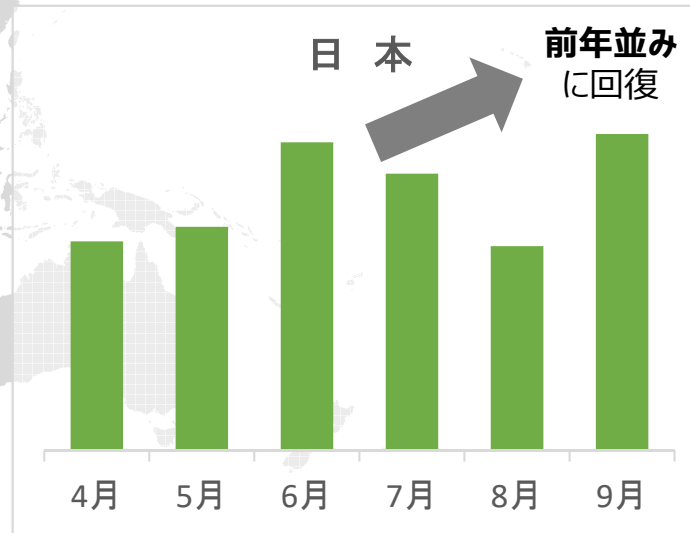
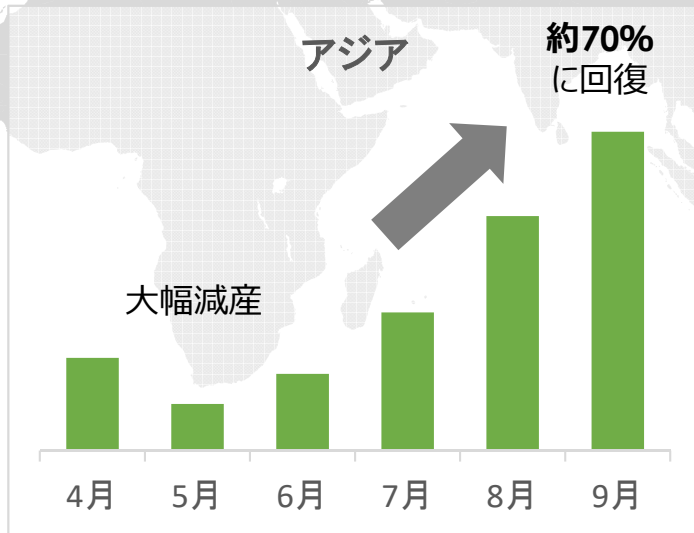
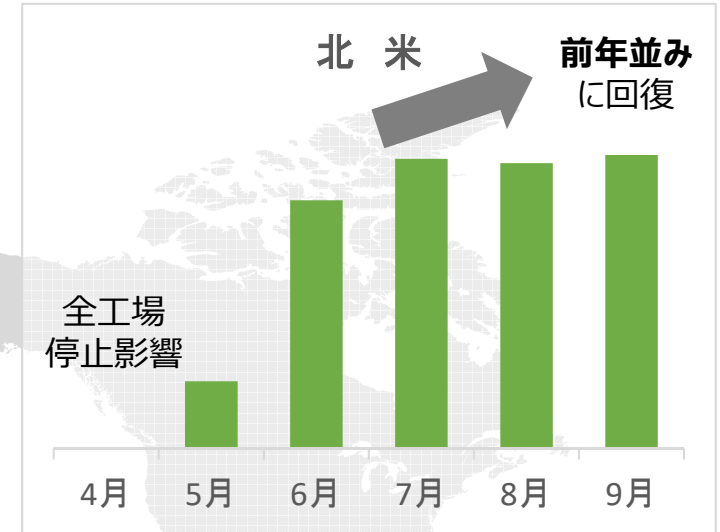
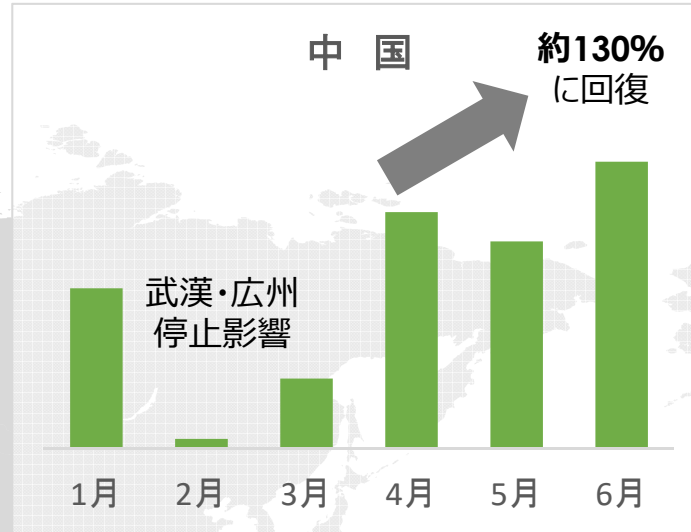


2. 重点取り組み



- ・ウイズコロナで経済・社会活動は回復へ
- ・中国が需要牽引するも、インドネシアなどアジアで回復に遅れ

<各国の生産状況>



1. 従業員とご家族の安心・安全を最優先

- ・ 対策本部を中心とした情報管理と感染予防策の徹底（衛生管理、体調管理）
- ・ テレワーク、フレックス、WEB会議の利用拡大
⇒ 今後も、ウイズコロナに向けた働き方改革を促進

2. 事業基盤の強化と基礎体力の更なる向上に注力

樹脂加工製品事業

- ・ つくりの改善
生産標準の見直しによるロスの削減
- ・ 内製化率UPと生産自動化による付加価値向上
- ・ サプライチェーンの見直し
- ・ 将来へ向けた研究開発の投資の継続

ケミカル事業

- ・ 四国化工の新工場でのものづくり事業の拡大、付加価値アップ
- ・ 与信管理の徹底

全社

- ・ 業務の効率化、RPA化
- ・ 社内横断的なコストコントロール

MI 400	3つの 基本戦略	細目	2021年3月期 上期 取り組み
	Ⅰ 経営基盤 強化	<u>上場企業としての企業価値の向上</u> <ul style="list-style-type: none"> グローバル経営基盤の強化を図ることで変革の加速を実現する 地球環境の変化への対応、豊かな暮らしづくりへの社会貢献 新成長事業育成への資源配分、ポートフォリオの最適化 	<p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold;">「開発力」×「技術力」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 電気自動車 主要部品を多数受注 2. ドライニングエリアへの 新規参入・拡大展開 3. フォルクスワーゲン 2種目 量産開始 4. 環境負荷を抑えた 製品開発へ
	Ⅱ 付加価値 創造	<u>モビリティ革新への新技術の事業化</u> <ul style="list-style-type: none"> 次世代モビリティへの革新技术・商品開発への挑戦 (グループ横断での取組み・パートナー企業との連携) 	
	Ⅲ 事業構造 変革	<u>新スマート社会での新たな事業基盤の実現</u> <ul style="list-style-type: none"> 環境変化を先取りした新たな生産技術の確立 グローバルビジネスの拡大 	

電気自動車に当社の部品が多数採用

■ Honda e (2020年10月発売)

フロントグリルやセンターコンソールなどの**主要部品**を多数受注



新型電気自動車
Honda e

フロントグリル (外装)



主
要
部
品

センターコンソール (内装)



アシスタントパネル (内装)



ポイント

- ・ 軽量化、EV領域においてベースメーカーの位置づけを確保

今後の展開

- ・ 今後、他の地域で発売されるEV車でも部品採用予定
- ・ 時代に応じた新しいコンセプト・機能の部品を継続的に開発・提案

ドアライニングエリアへの新規参入・拡大展開

新規参入

■ N-ONE (2020年11月発売)

- ドアライニング (ドアの内張り) を初受注
- 薄肉化による軽量化とコストダウンを実現



ドアライニングパネル
(フロント・リア)

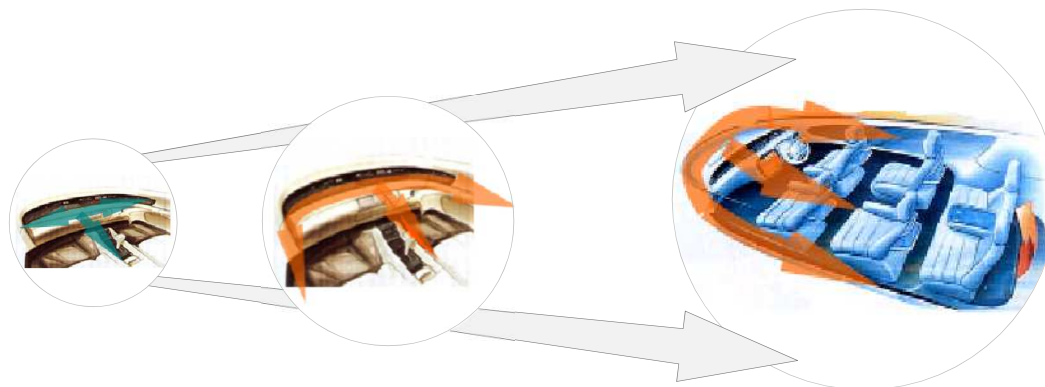


ホンダ N-ONE

今後の展開

運転席回りから車体全体へ部品領域の拡大

- 運転席回りと側面の一括受注により、よりデザイン性の高いインテリアの実現
- 軽自動車で確立した技術をさらに拡大展開



商品 範囲	インパネ コンソール	インパネ コンソール ドアライニング	インパネ コンソール ドアライニング	車体全体 ボディ
	開発 技術	モジュール 開発による 量産化実績	提案型 加飾商品の 拡大	
	~2018	2019~2021	将来 (2022~)	

グローバル商品に開発拡大

他の自動車メーカーへの販売拡大

■ TAOS (2020年12月発売)

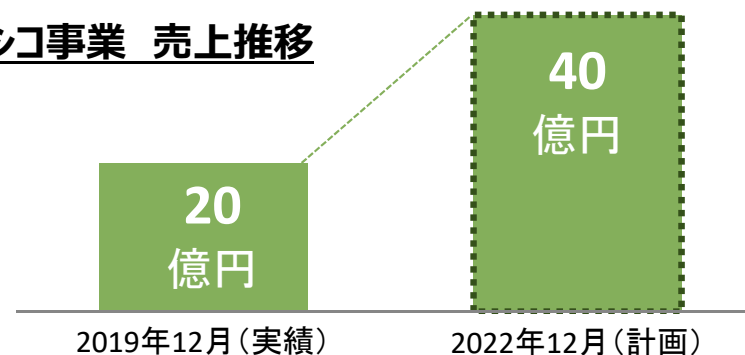


販売地域：北米

受注：エアベント、メーター回り等



メキシコ事業 売上推移



ポイント

- ・メキシコ工場の売上規模は約2倍へ

今後の展開

- ・ドイツAudi社との取引が正式決定
- ・2024年、メキシコでAudi Q5のエアベント 量産開始へ



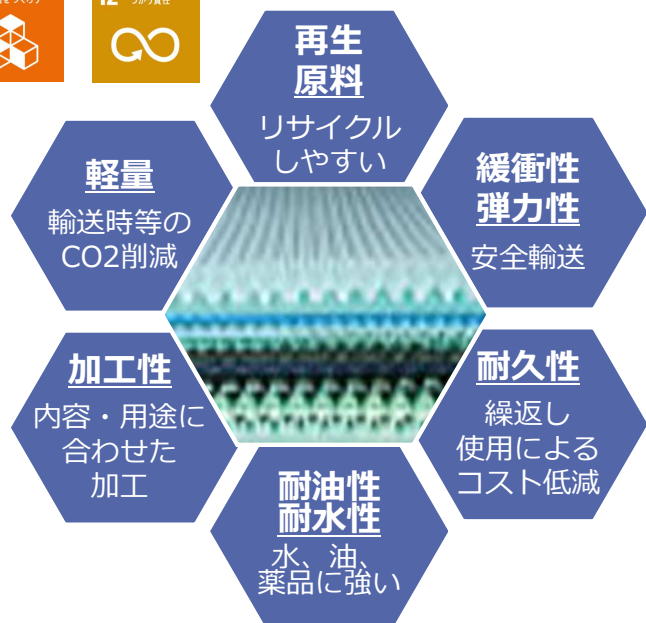
四国化工 × 森六ケミカルズ ～ 環境負荷を抑えた製品開発へ～

APTON®

- ポリエチレン樹脂を波形状に成形したプラスチック段ボール



梱包資材



広がる 使用用途

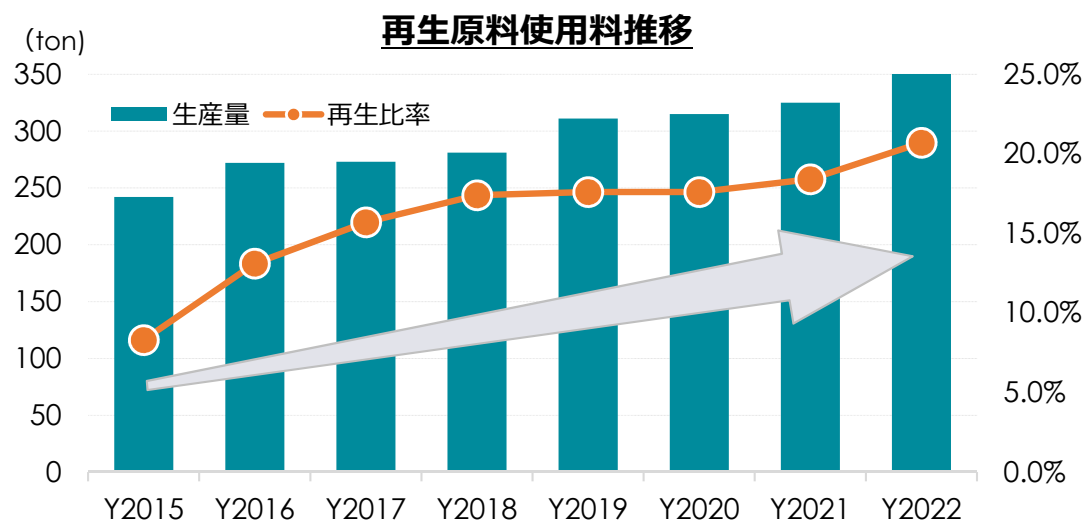
- 植樹・林業向けのニーズも伸長



育苗シート



- 生分解素材の使用や、再生原料比率を高め、CO2による環境負荷を軽減





3. 2021年3月期 第2四半期決算

コロナによるマイナスインパクトは1Qが底
2Qは、主要顧客の生産台数増加により大幅に改善

(百万円)

	20.3期 第2四半期 実績	21.3期		
		第2四半期 実績	増減額	増減率
売上高	85,901	66,976	△ 18,925	△22.0%
営業利益	2,522	1,830	△ 691	△27.4%
営業利益率	2.9%	2.7%	-	-
経常利益	2,605	1,025	△ 1,579	△60.6%
四半期純利益又は四半期純損失	1,376	△ 1,472	△ 2,849	-
EPS(円)	83.16円	△88.90円	△ 172.06	-
一株配当(円)	51.00円	20.00円	△ 31.00	△60.8%
為替(円/\$)【期中平均】	108.61円	106.93円	△ 1.68	△1.5%
klあたりナフサ価格(円/kl) 【期中平均】	42,800円	27,600円	△ 15,200	△35.5%

樹脂加工製品：中国の需要回復と北米における生産性向上が寄与

ケミカル：中国の自動車向け取引が復調するも、東南アジアで回復に遅れ

(百万円)

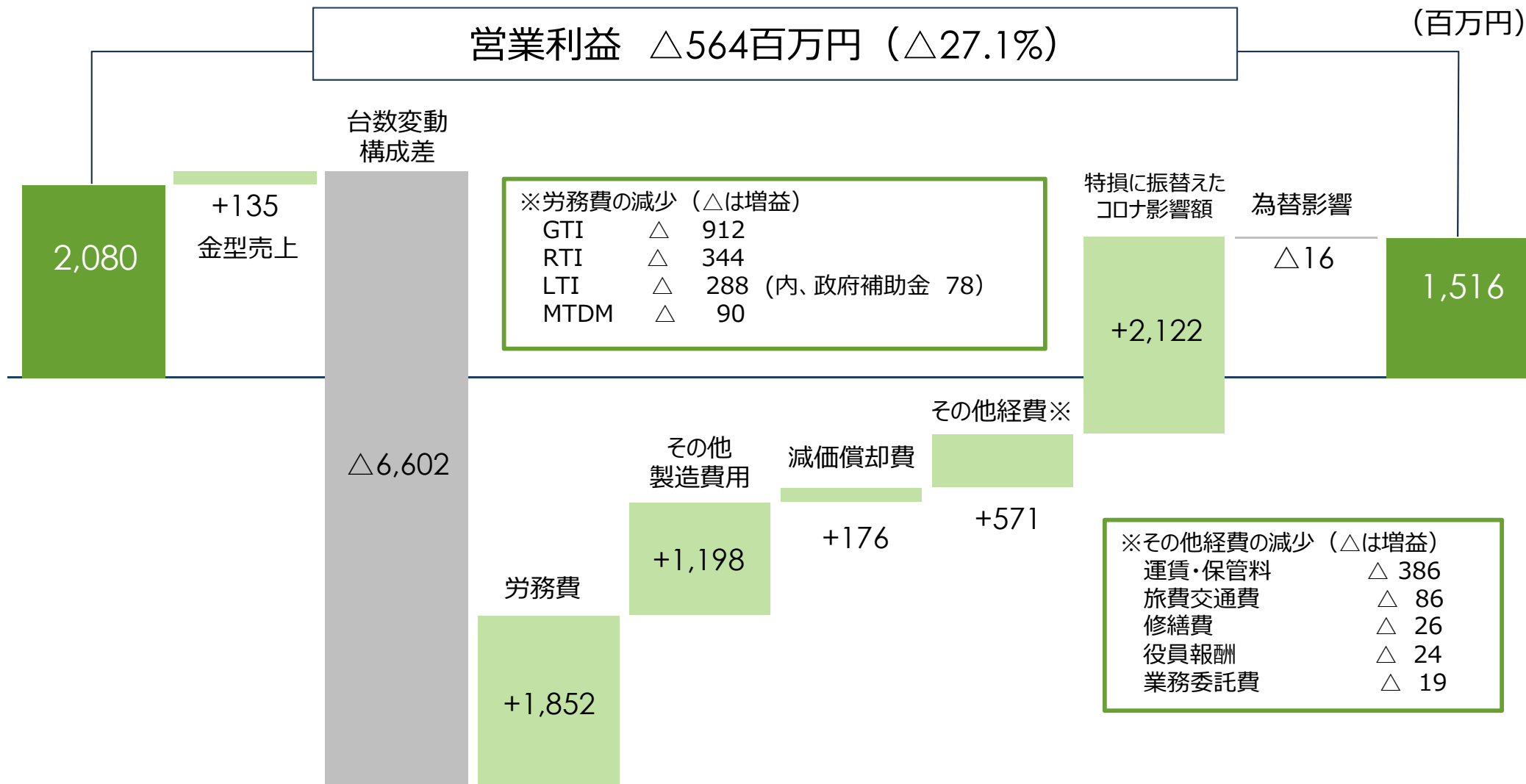
	20.3期 第2四半期 実績	21.3期 第2四半期 実績	増減	
			増減額	増減率
売上高	85,901	66,976	△ 18,925	△22.0%
樹脂加工製品事業	54,143	39,022	△ 15,121	△27.9%
ケミカル事業	31,757	27,954	△ 3,803	△12.0%
営業利益	2,522	1,830	△ 691	△27.4%
樹脂加工製品事業	2,080	1,516	△ 564	△27.1%
ケミカル事業	574	394	△ 180	△31.4%
営業利益率(%)	2.9%	2.7%	-	-
樹脂加工製品事業	3.8%	3.9%	-	-
ケミカル事業	1.8%	1.4%	-	-

コロナ影響により台数・構成差がマイナス

工場停止期間中、従業員の一部解雇や時短対応を実施し、経費を抑制

営業利益 $\Delta 564$ 百万円 ($\Delta 27.1\%$)

(百万円)

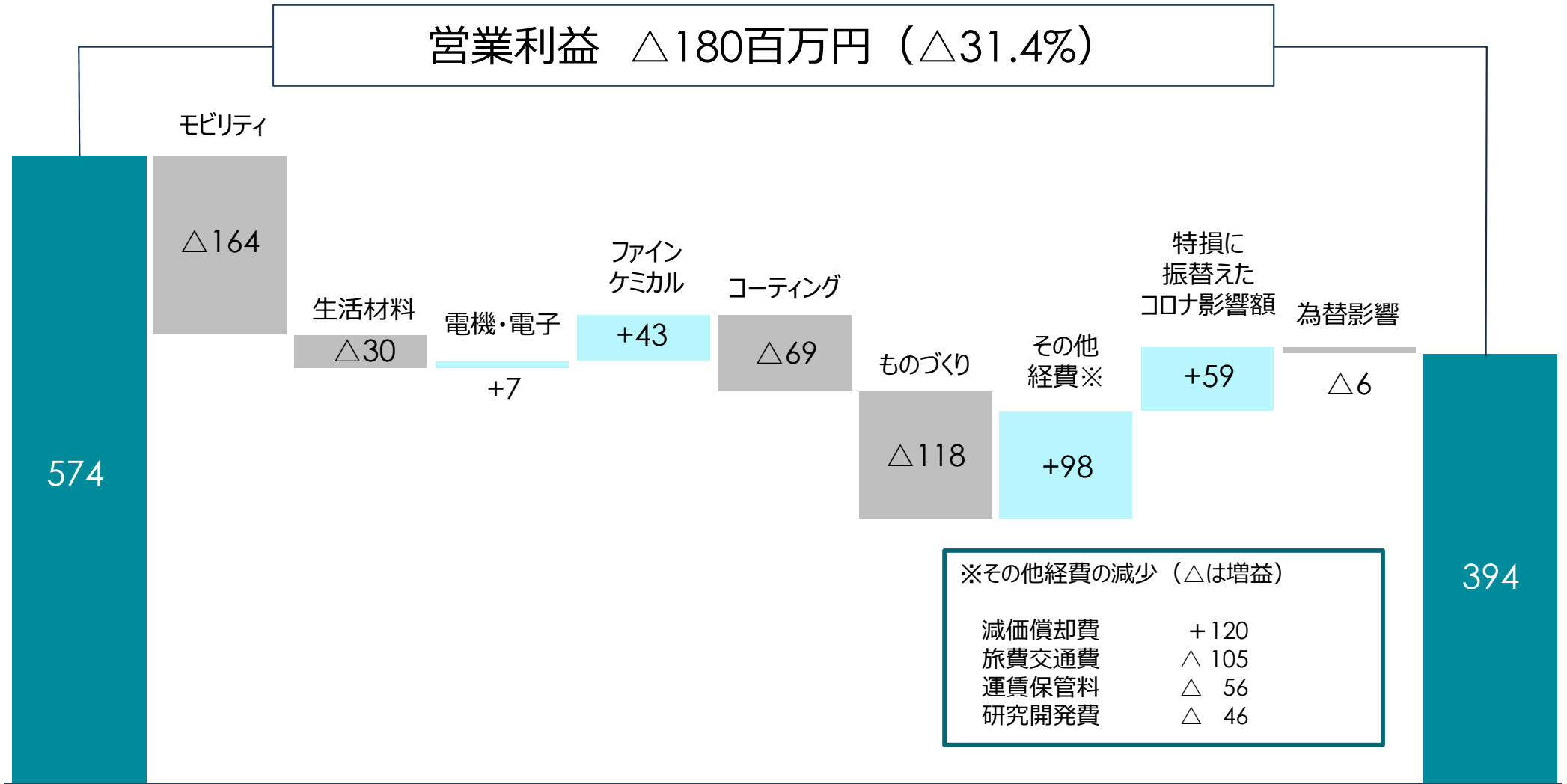


20.3期
第2四半期

21.3期
第2四半期

モビリティ、コーティングなど、自動車関連取引が減少
 ものづくり分野では、コロナ影響により、医療・外食関連の取引が減少

営業利益 $\Delta 180$ 百万円 ($\Delta 31.4\%$)



※その他経費の減少 (Δ は増益)

減価償却費	+120
旅費交通費	$\Delta 105$
運賃保管料	$\Delta 56$
研究開発費	$\Delta 46$

20.3期
第2四半期

21.3期
第2四半期

1Qの工場停止・減産影響により、減収減益が多い中
北米は生産体質の改善により黒字化を達成

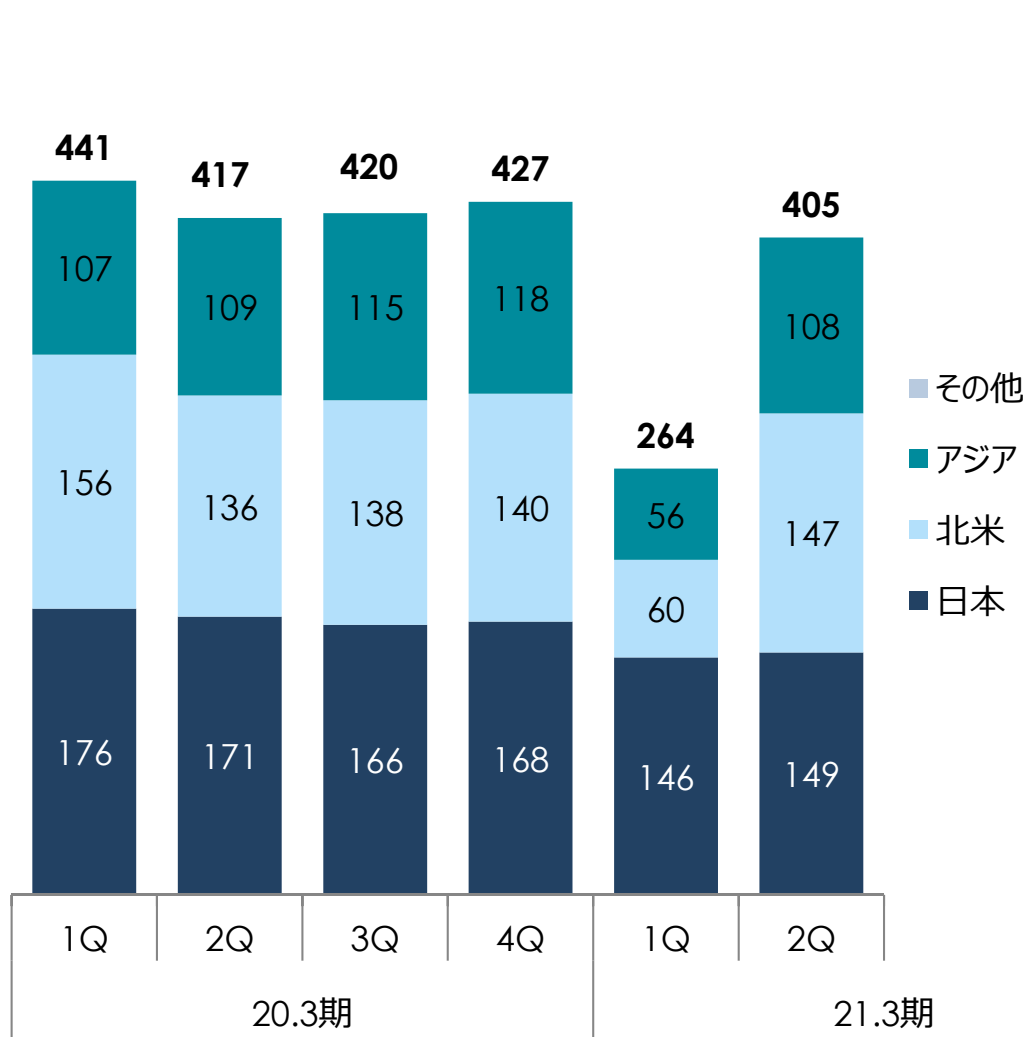
(億円)

	20.3期 第2四半期		21.3期 第2四半期		前年同期比 増減額	前年同期比 増減率
		構成比率		構成比率		
売上高 計	859	100.0%	669	100.0%	△ 189	△22.0%
日本	348	40.5%	296	44.2%	△ 51	△14.9%
海外	510	59.5%	373	55.8%	△ 137	△26.9%
北米	293	34.1%	208	31.1%	△ 84	△28.9%
アジア	216	25.2%	164	24.5%	△ 52	△24.2%
その他	0	0.1%	0	0.1%	△0	△16.8%
営業利益 計	25	100.0%	18	100.0%	△ 6	△27.4%
日本	4	16.8%	△ 3	△21.7%	△ 8	△193.8%
海外	21	86.6%	22	124.7%	0	4.5%
北米	△0	△3.8%	3	17.0%	4	-
アジア	22	90.0%	19	107.3%	△ 3	△13.4%
その他	0	0.4%	0	0.3%	△0	△45.2%
調整額	△0	△3.3%	△0	△3.0%	0	-

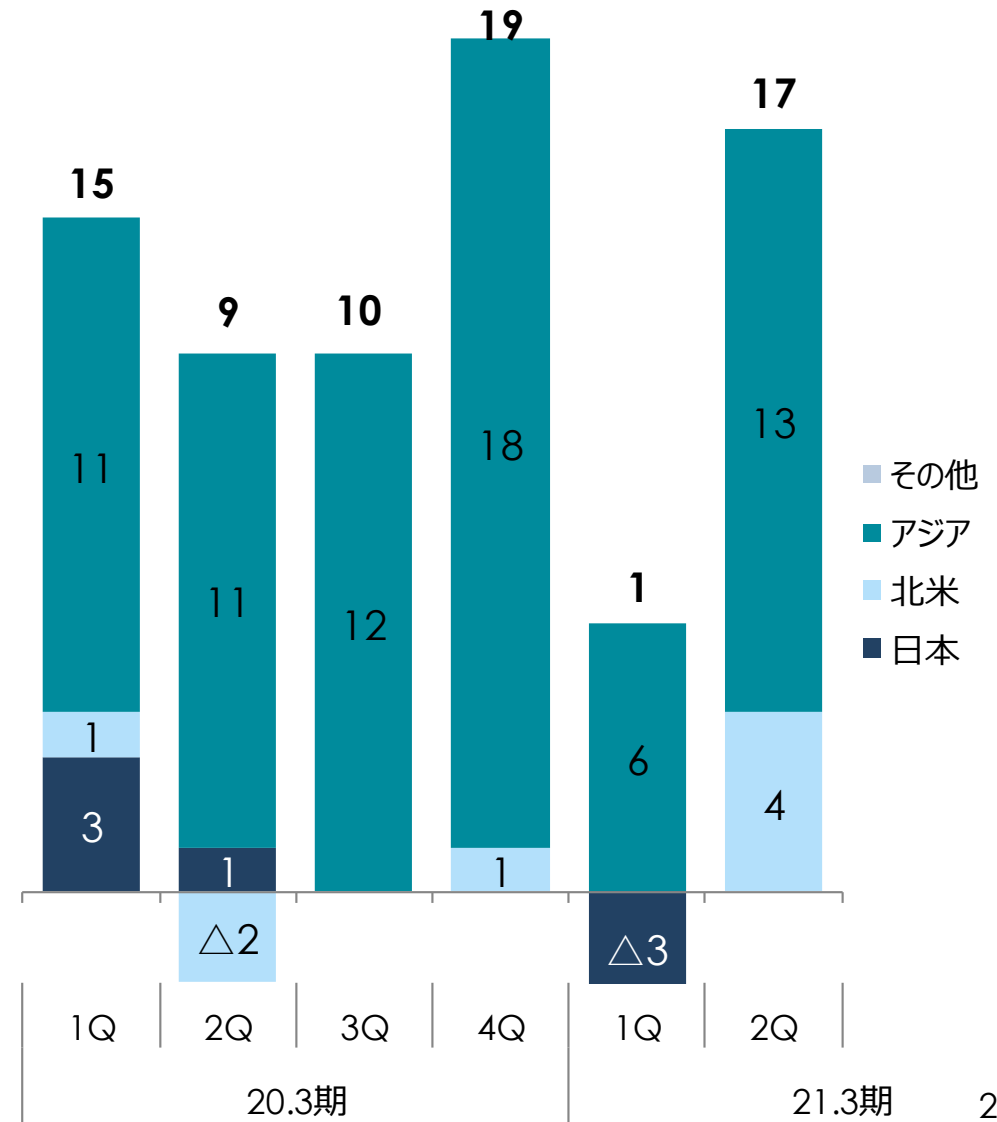
所在地別・四半期売上高、営業利益

中国・北米は、前年同期の実績を上回る水準まで回復

所在地別・四半期売上高（億円）



所在地別・四半期営業利益（億円）



2021年3月期 第2四半期決算 貸借対照表 (概略)

コロナ禍における手元資金の確保により、総資産は31億円増加し1,256億円

(億円)

	20.3期末 実績	21.3期 第2四半期			20.3期末 実績	21.3期 第2四半期	
		実績	差額			実績	差額
流動資産	586	606	20	流動負債	449	485	36
(現預金)	116	171	55	(買入債務)	220	205	△ 15
(売上債権)	310	280	△ 30	(短期借入金)	153	210	56
(在庫)	114	120	6	固定負債	110	119	8
固定資産	638	649	11	(長期借入金)	50	50	0
(有形固定資産)	465	449	△ 15	純資産	664	651	△ 13
(投資有価証券)	141	168	26	(資本剰余金)	47	47	0
				(利益剰余金)	543	521	△ 21
				(自己株式)	△ 2	△ 2	0
				(評価・換算差額)	47	56	8
資産合計	1,224	1,256	31	負債純資産合計	1,224	1,256	31
				借入金	204	261	57

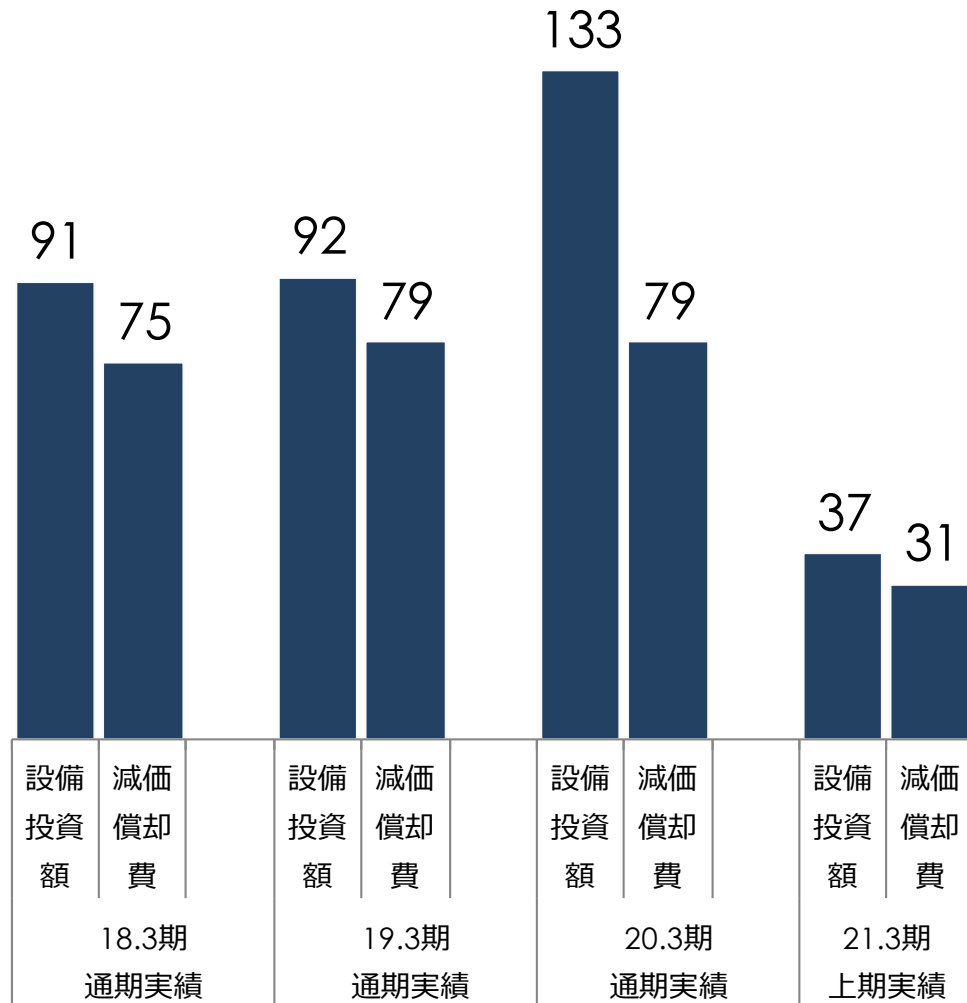
フリーキャッシュフローはプラスを確保

(億円)

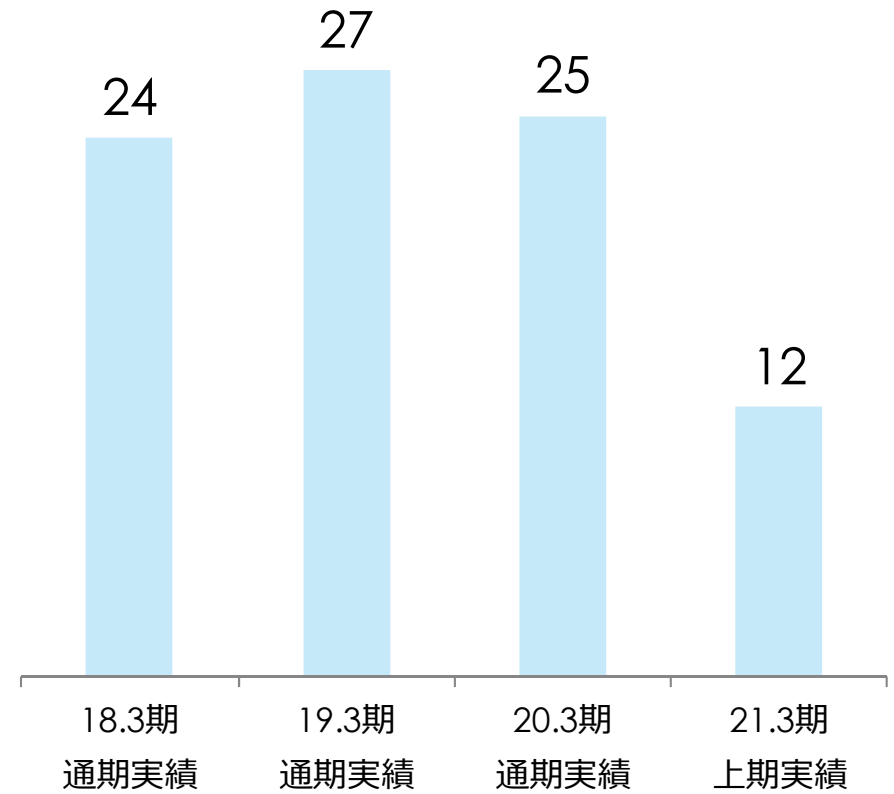
	20.3期 第2四半期 実績	21.3期 第2四半期 実績	差額
営業活動によるキャッシュフロー	43	44	0
投資活動によるキャッシュフロー	△56	△ 37	19
フリーキャッシュフロー	△12	6	19
財務活動によるキャッシュフロー	△29	50	79
現金及び現金同等物の増減額	△44	55	99
現金及び現金同等物期末残高	144	171	27

大型投資は一巡し、設備投資額は減少、研究開発費は横ばい

設備投資額・減価償却費(億円)



研究開発費(億円)



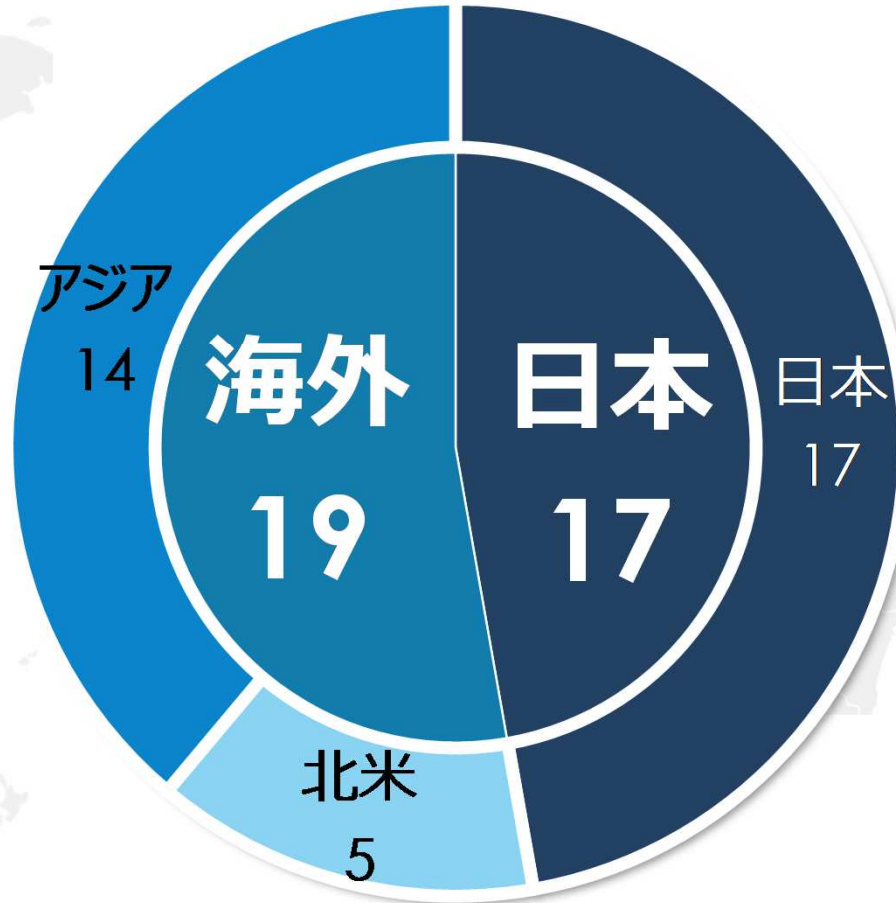
新機種の金型や既存施設の増築・メンテナンスが中心

▼広州森六塑件有限公司
増築+立体倉庫



▲Moriroku Technology (Thailand) Co.,Ltd.
工場拡張

設備投資額
37億円



▼森六テクノロジー株式会社
新機種金型等



▲四国化工株式会社
新工場 クリーンルームの様子

4. 2021年3月期 見通し

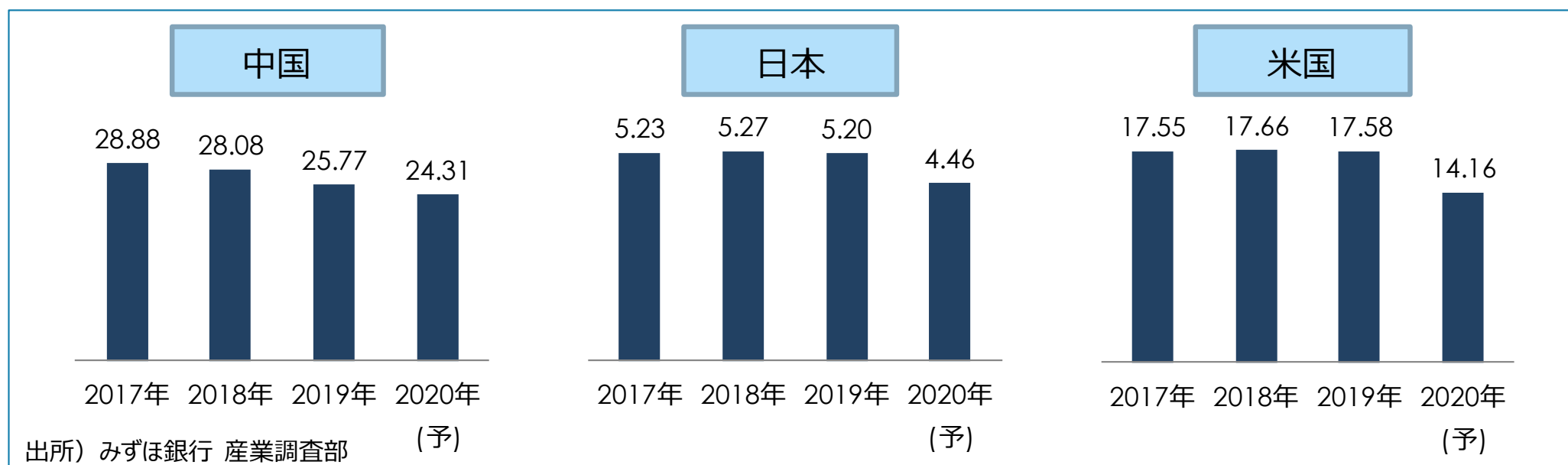


自動車市場は、中国や先進国では一定の回復が見られるも、新興国の回復が鈍く、通年では前期比減少の見通し

■ 想定為替レート

	20.3期 通期実績	21.3期 通期予想
為替(円/\$) 【期中平均】	108.7円	107.0円
為替(円/中国元)【期中平均】	15.8円	15.3円

■ 主要市場での自動車販売台数推移 (百万台)



8/7発表の通期業績見通しから変更はなし

(億円)

	20.3期 実績	21.3期 通期予想	増減額	増減率
売上高	1,707	1,490	△ 217	△12.8%
営業利益	54	38	△ 16	△30.9%
営業利益率	3.2%	2.6%	-	-
経常利益	56	30	△ 26	△47.1%
親会社株主に帰属する当期純利益	35	2	△ 33	△94.3%
EPS(円)	212.89円	12.07円	△ 200.82	△94.3%
一株配当(円)	94.00円	50.00円	△ 44.00	△46.8%
為替(円/\$)【期中平均】	108.71円	107.00円	△ 1.71	△1.6%
klあたりナフサ価格(円/kl)【期中平均】	42,925円	30,000円	△ 12,925	△30.1%

中国および北米は、引き続き、現在の好調を維持する見通し

(億円)

	20.3期 通期実績	21.3期 通期予想	増減額	増減率
売上高	1,707	1,490	△ 217	△12.8%
樹脂加工製品事業	1,069	860	△ 209	△19.6%
ケミカル事業	638	630	△ 8	△1.3%
営業利益	54	38	△ 16	△30.9%
樹脂加工製品事業	45	33	△ 12	△27.5%
ケミカル事業	12	8	△ 4	△34.2%

設備投資は47億円の減少、研究開発費は前年並み

(億円)

	20.3期 通期実績	21.3期 通期予想	増減額	増減率
設備投資額	133	85	△ 47	△35.7%
減価償却費	79	71	△ 7	△10.0%
研究開発費	25	26	0	3.3%



5. 参考資料

財務ハイライト①

		(百万円)					
【連 結】		15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期
売上高		161,170	172,224	170,005	182,177	189,554	170,773
	YoY	4.9%	6.9%	△1.3%	7.2%	4.0%	△9.9%
売上原価		—	151,436	149,212	157,633	164,813	149,556
売上総利益		—	20,788	20,792	24,543	24,740	21,217
	YoY	—	—	0.0%	18.0%	0.8%	△14.2%
	ratio	—	12.1%	12.2%	13.5%	13.1%	12.4%
販管費		—	14,485	14,468	15,125	16,054	15,720
	YoY	—	—	△0.1%	4.5%	6.1%	△2.1%
	ratio	—	8.4%	8.5%	8.3%	8.5%	9.2%
営業利益		—	6,303	6,323	9,417	8,686	5,497
	YoY	—	—	0.3%	48.9%	△7.8%	△36.7%
	ratio	—	3.7%	3.7%	5.2%	4.6%	3.2%
営業外収益		—	602	556	616	863	796
営業外費用		—	829	894	778	722	625
経常利益		6,224	6,076	5,985	9,256	8,827	5,668
	YoY	14.3%	△2.4%	△1.5%	54.6%	△4.6%	△35.8%
	ratio	3.9%	3.5%	3.5%	5.1%	4.7%	3.3%
特別利益		—	59	92	160	1,003	480
特別損失		—	570	2,693	267	1,188	574
税前利益		6,026	5,565	3,384	9,149	8,642	5,574
	YoY	15.1%	△7.7%	△39.2%	170.4%	△5.5%	△35.5%
	ratio	3.7%	3.2%	2.0%	5.0%	4.6%	3.3%
法人税等		—	2,164	2,255	2,245	2,658	1,945
当期純利益		3,928	3,320	1,026	6,805	6,112	3,525
	YoY	17.6%	△15.5%	△69.1%	563.3%	△10.2%	△42.3%
	ratio	2.4%	1.9%	0.6%	3.7%	3.2%	2.1%
【連 結】		15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期
営業活動によるキャッシュフロー		—	12,967	9,880	15,388	18,358	6,042
投資活動によるキャッシュフロー		—	△ 14,584	△ 10,912	△ 8,819	△ 7,186	△ 12,857
財務活動によるキャッシュフロー		—	2,297	2,191	1,562	△ 9,016	△ 112
現金及び現金同等物の増減額		—	388	1,020	8,287	1,716	△ 7,254
現金及び現金同等物期末残高		—	7,573	8,902	17,190	18,906	11,653

財務ハイライト②

(百万円)

【連結】	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期
流動資産	—	54,120	56,502	67,716	65,921	58,624
(現預金)	—	7,639	8,968	16,789	18,566	11,681
(売掛金)	—	32,125	33,401	36,459	33,475	31,097
(貸倒引当金)	—	△ 60	△ 53	△ 46	△ 26	△ 12
固定資産	—	57,985	61,538	65,572	62,141	63,869
有形固定資産	—	41,466	42,720	43,619	42,545	46,546
無形固定資産	—	804	773	839	990	1,004
投資その他の資産	—	15,714	18,044	21,113	18,605	16,318
(投資有価証券)	—	14,738	16,654	19,371	16,447	14,186
資産合計	111,637	112,105	118,041	133,289	128,063	122,493
	15.3期	16.3期	17.3期	18.3期	19.3期	20.3期
流動負債	—	43,388	44,756	50,792	48,561	44,933
(買掛金)	—	22,727	21,647	24,552	23,440	19,801
固定負債	—	16,839	19,761	15,825	12,060	11,092
負債合計	—	60,227	64,517	66,617	60,622	56,025
株主資本	—	43,309	43,886	54,769	58,584	60,487
(資本金)	—	1,640	1,640	1,640	1,640	1,640
(利益剰余金)	—	41,595	42,172	48,644	52,459	54,307
評価・換算差額等	—	7,484	8,445	10,619	7,714	4,741
純資産額	52,146	51,878	53,523	66,672	67,440	66,467
負債純資産合計	111,637	112,105	118,041	133,289	128,063	122,493
ROE	8.4%	6.5%	2.0%	11.6%	9.3%	5.4%
自己資本比率	45.8%	45.3%	44.3%	49.1%	51.8%	53.3%

【ご注意事項】

本資料は当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは異なる結果となることをご承知おきください。